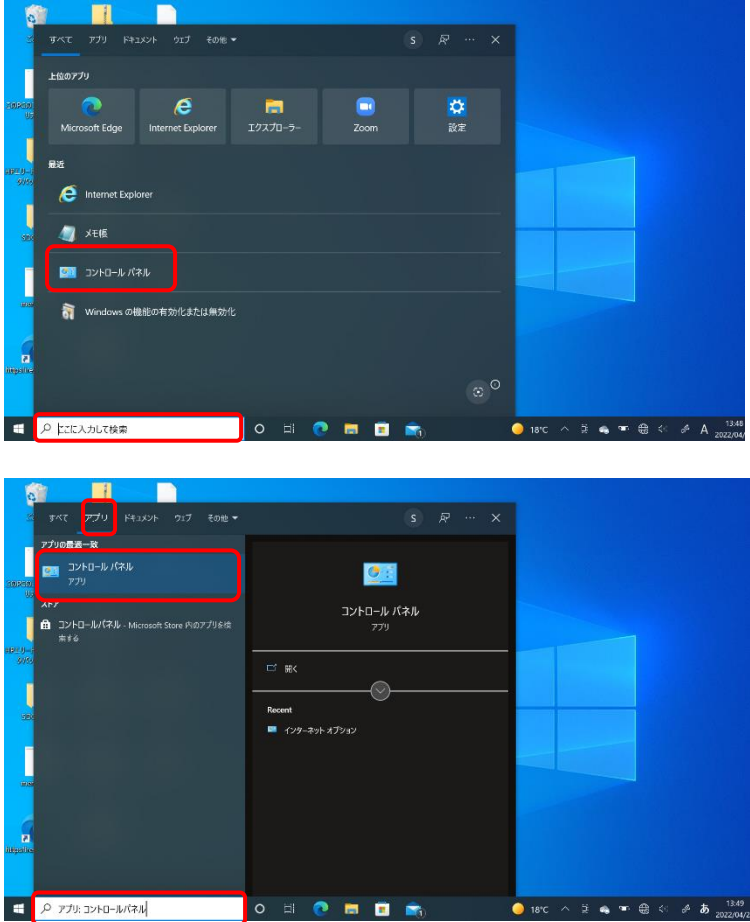

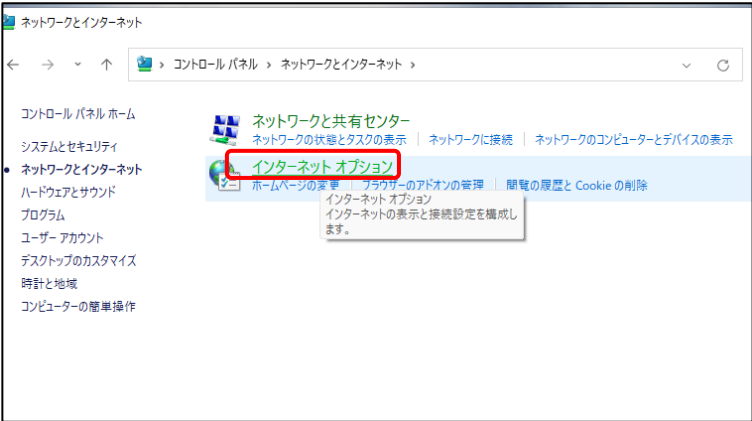
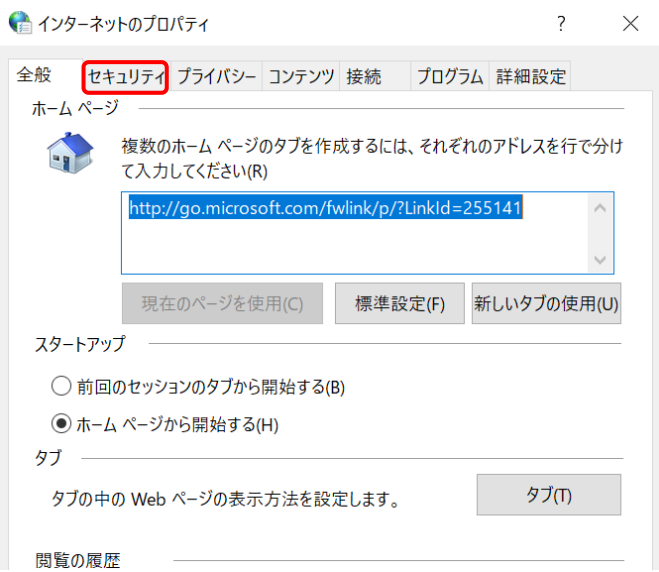
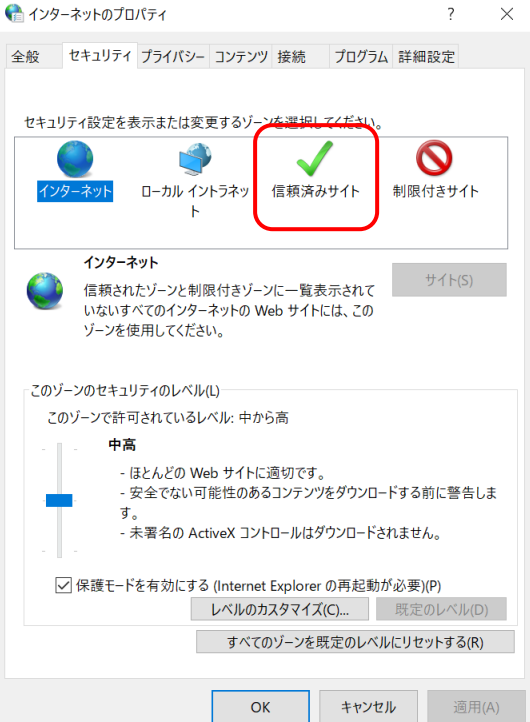
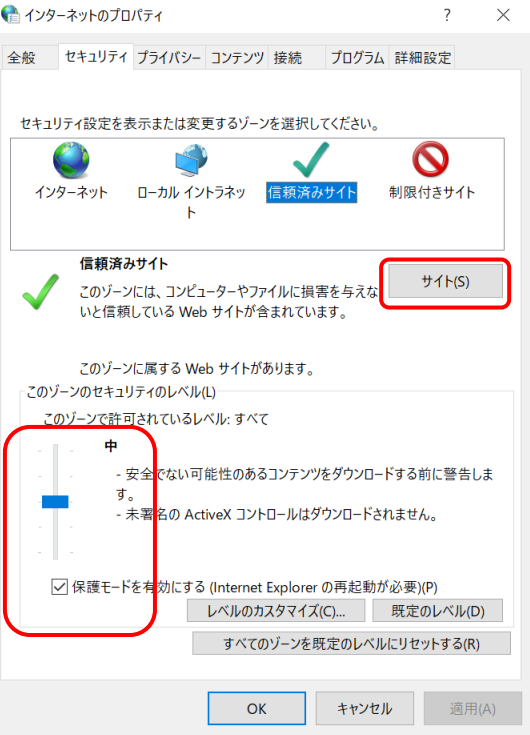
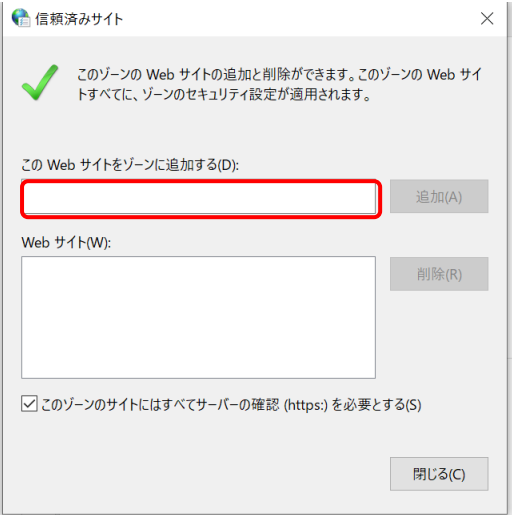
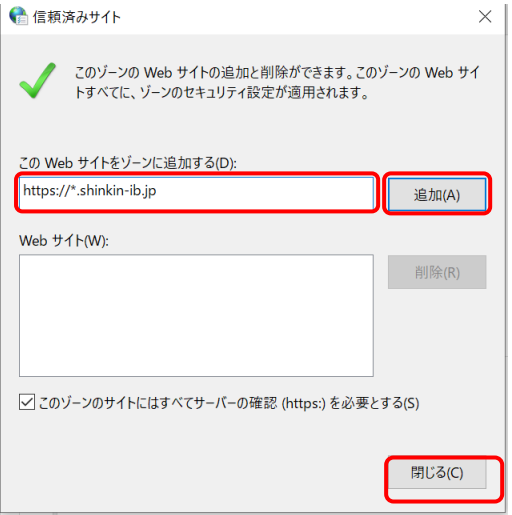



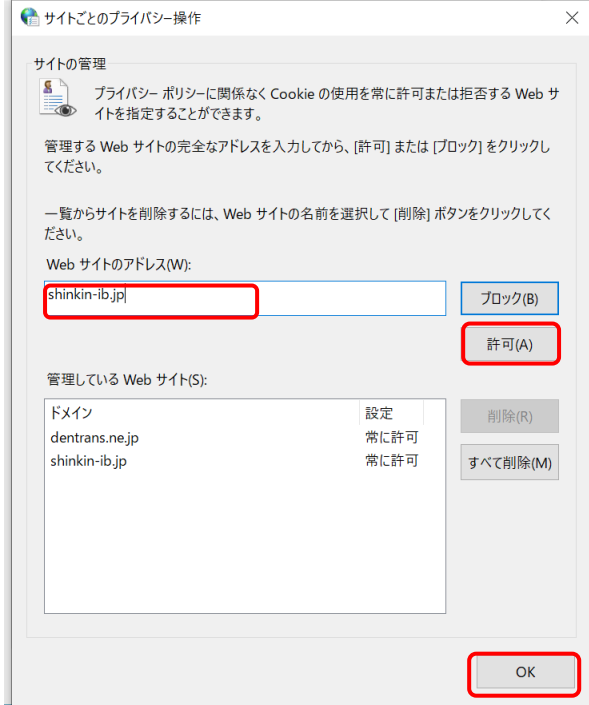
## 【Microsoft Edge (IE モード) における推奨環境の設定方法】

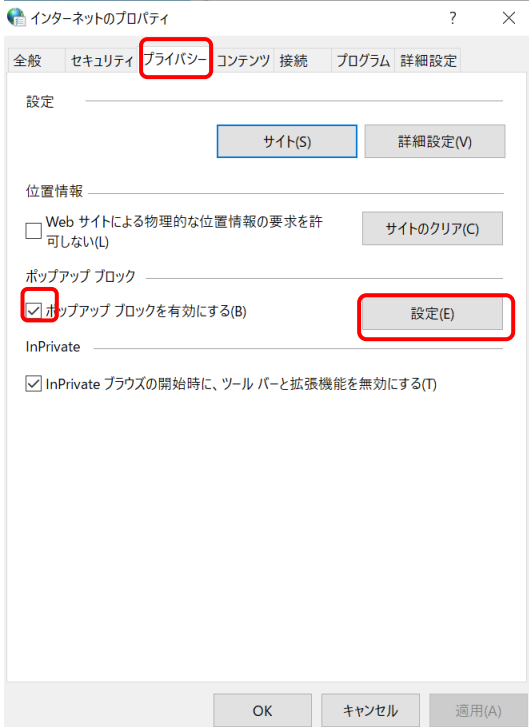
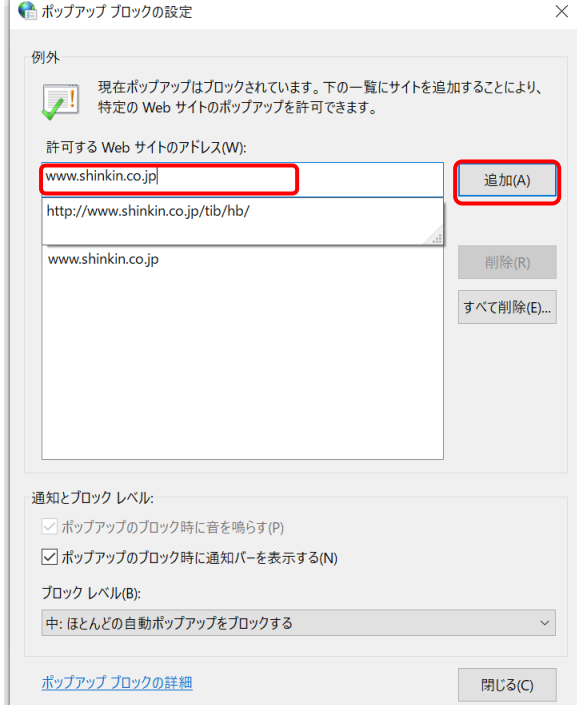
画面	操作
	<p>1. スタートボタン横にある検索ボックスを選び、「コントロールパネル」を開いてください。</p> <p>※表示されていない場合は、上部のメニュー欄から「アプリ」を選択し絞り込み検索をしてください。 検索キーワードにコントロールパネルと入力し、アプリの最適一致に表示されるコントロールパネル（アプリ）を選択してください。</p>
	<p>2. コントロールパネルの表示方法から「カテゴリ」を選択後、「ネットワークとインターネット」を選択してください。</p>

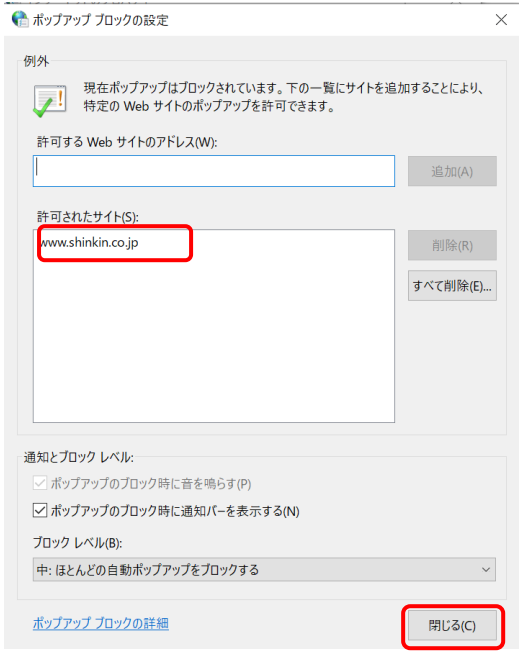
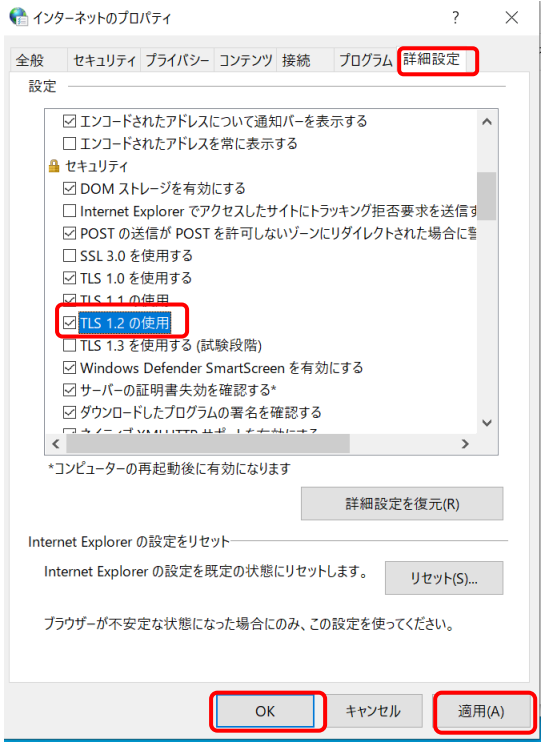
画面	操作
 <p>ネットワークとインターネット</p> <p>コントロール パネル ホーム</p> <p>システムとセキュリティ</p> <p>ネットワークとインターネット</p> <p>ハードウェアとサウンド</p> <p>プログラム</p> <p>ユーザー アカウント</p> <p>デスクトップのカスタマイズ</p> <p>時計と地域</p> <p>コンピューターの簡単操作</p> <p>ネットワークと共有センター</p> <p>ネットワークの状態とタスクの表示   ネットワークに接続   ネットワークのコンピューターとデバイスの表示</p> <p>インターネットオプション</p> <p>ホームページの変更   プラグインのアドオンの管理   閲覧の履歴と Cookie の削除</p> <p>インターネットオプション</p> <p>インターネットの表示と接続設定を構成します。</p>	<p>3. ネットワークとインターネットの「インターネットオプション」を選択してください。</p>
 <p>インターネットのプロパティ</p> <p>全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定</p> <p>ホーム ページ</p> <p>複数のホーム ページのタブを作成するには、それぞれのアドレスを行で分けて入力してください(R)</p> <p><a href="http://go.microsoft.com/fwlink/p/?LinkId=255141">http://go.microsoft.com/fwlink/p/?LinkId=255141</a></p> <p>現在のページを使用(C) 標準設定(F) 新しいタブの使用(U)</p> <p>スタートアップ</p> <p><input type="radio"/> 前回のセッションのタブから開始する(B)</p> <p><input checked="" type="radio"/> ホーム ページから開始する(H)</p> <p>タブ</p> <p>タブの中の Web ページの表示方法を設定します。 タブ(T)</p> <p>閲覧の履歴</p>	<p>4. インターネットのプロパティの「セキュリティ」タブを選択してください。</p>

画面	操作
 <p>インターネットのプロパティ</p> <p>全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定</p> <p>セキュリティ設定を表示または変更するゾーンを選択してください。</p> <p>インターネット ローカル イントラネット <b>信頼済みサイト</b> 制限付きサイト</p> <p>インターネット</p> <p>信頼されたゾーンと制限付きゾーンに一覧表示されていないすべてのインターネットの Web サイトには、このゾーンを使用してください。</p> <p>このゾーンのセキュリティのレベル(L)</p> <p>このゾーンで許可されているレベル: 中から高</p> <p><b>中高</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ほとんどの Web サイトに適切です。</li> <li>- 安全でない可能性のあるコンテンツをダウンロードする前に警告します。</li> <li>- 未署名の ActiveX コントロールはダウンロードされません。</li> </ul> <p><input checked="" type="checkbox"/> 保護モードを有効にする (Internet Explorer の再起動が必要)(P)</p> <p>レベルのカスタマイズ(C)... 既定のレベル(D)</p> <p>すべてのゾーンを既定のレベルにリセットする(R)</p> <p>OK キャンセル 適用(A)</p>	<p>5. インターネットのプロパティの「セキュリティ」タブの「信頼済みサイト」を選択してください。</p>
 <p>インターネットのプロパティ</p> <p>全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定</p> <p>セキュリティ設定を表示または変更するゾーンを選択してください。</p> <p>インターネット ローカル イントラネット <b>信頼済みサイト</b> 制限付きサイト</p> <p><b>信頼済みサイト</b></p> <p>このゾーンには、コンピューターやファイルに損害を与えないと信頼している Web サイトが含まれています。</p> <p>このゾーンに属する Web サイトがあります。</p> <p>このゾーンのセキュリティのレベル(L)</p> <p>このゾーンで許可されているレベル: すべて</p> <p><b>中</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 安全でない可能性のあるコンテンツをダウンロードする前に警告します。</li> <li>- 未署名の ActiveX コントロールはダウンロードされません。</li> </ul> <p><input checked="" type="checkbox"/> 保護モードを有効にする (Internet Explorer の再起動が必要)(P)</p> <p>レベルのカスタマイズ(C)... 既定のレベル(D)</p> <p>すべてのゾーンを既定のレベルにリセットする(R)</p> <p>OK キャンセル 適用(A)</p>	<p>6. インターネットのプロパティの「セキュリティ」タブから「信頼済みサイト」を選択し、「このゾーンのセキュリティレベル」を「中」に設定後、「サイト」を選択してください。</p> <p>※セキュリティレベルが、「カスタム」となっている場合は、「レベルのカスタマイズ」を選択し、「セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン」画面を表示してください。「ActiveX コントロールとプラグイン」の「ActiveX コントロールとプラグインの実行」が「有効にする」になっていることを確認してください。</p>

画面	操作
 <p>信頼済みサイト</p> <p>このゾーンの Web サイトの追加と削除ができます。このゾーンの Web サイトすべてに、ゾーンのセキュリティ設定が適用されます。</p> <p>この Web サイトをゾーンに追加する(D):</p> <p>追加(A)</p> <p>Web サイト(W):</p> <p>削除(R)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https) を必要とする(S)</p> <p>閉じる(C)</p>	<p>7. 信頼済みサイトの「この Web サイトをゾーンに追加する」の入力欄に、下記 URL を入力してください。</p> <p>「https://*.shinkin-ib.jp」</p>
 <p>信頼済みサイト</p> <p>このゾーンの Web サイトの追加と削除ができます。このゾーンの Web サイトすべてに、ゾーンのセキュリティ設定が適用されます。</p> <p>この Web サイトをゾーンに追加する(D):</p> <p>https://*.shinkin-ib.jp</p> <p>追加(A)</p> <p>Web サイト(W):</p> <p>削除(R)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https) を必要とする(S)</p> <p>閉じる(C)</p>	<p>8. 信頼済みサイトの「この Web サイトをゾーンに追加する」に URL を入力後、「追加」を選択し、「閉じる」を選択してください。</p>

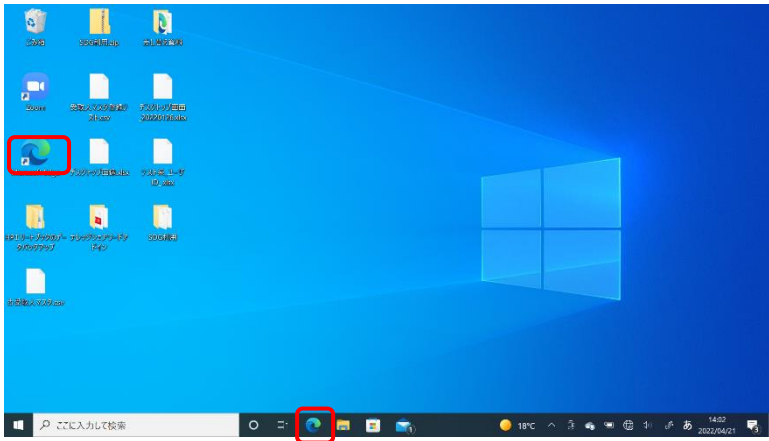
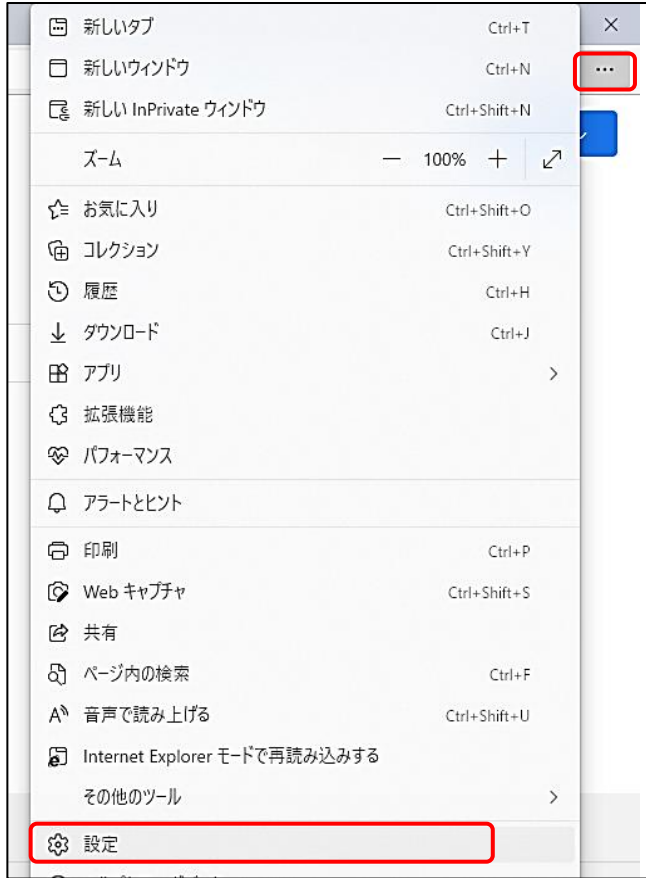
画面	操作									
 <p>インターネットのプロパティ</p> <p>全般 セキュリティ <b>プライバシー</b> コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定</p> <p>設定</p> <p><b>サイト(S)</b> 詳細設定(V)</p> <p>位置情報</p> <p><input type="checkbox"/> Web サイトによる物理的な位置情報の要求を許可しない(L) <b>サイトのクリア(C)</b></p> <p>ポップアップ ブロック</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ポップアップ ブロックを有効にする(B) <b>設定(E)</b></p> <p>InPrivate</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> InPrivate ブラウズの開始時に、ツール バーと拡張機能を無効にする(T)</p> <p>OK キャンセル 適用(A)</p>	<p>9. インターネットのプロパティの「プライバシー」タブの「サイト」を選択してください。</p>									
 <p>サイトごとのプライバシー操作</p> <p>サイトの管理</p> <p>プライバシー ポリシーに関係なく Cookie の使用を常に許可または拒否する Web サイトを指定することができます。</p> <p>管理する Web サイトの完全なアドレスを入力してから、[許可] または [ブロック] をクリックしてください。</p> <p>一覧からサイトを削除するには、Web サイトの名前を選択して [削除] ボタンをクリックしてください。</p> <p>Web サイトのアドレス(W):</p> <p>shinkin-ib.jp <b>ブロック(B)</b></p> <p><b>許可(A)</b></p> <p>管理している Web サイト(S):</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ドメイン</th> <th>設定</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>dentrans.ne.jp</td> <td>常に許可</td> <td>削除(R)</td> </tr> <tr> <td>shinkin-ib.jp</td> <td>常に許可</td> <td>すべて削除(M)</td> </tr> </tbody> </table> <p>OK</p>	ドメイン	設定		dentrans.ne.jp	常に許可	削除(R)	shinkin-ib.jp	常に許可	すべて削除(M)	<p>10. サイトごとのプライバシー操作の「Web サイトのアドレス」の入力欄に、下記 URL を入力します。(半角)</p> <p>法人インターネットバンキングサービスをご利用の場合 「shinkin-ib.jp」</p> <p>しんきん電子記録債権サービスをご利用の場合 「dentrans.ne.jp」</p> <p>「許可」を選択後、「OK」を押下してください。</p>
ドメイン	設定									
dentrans.ne.jp	常に許可	削除(R)								
shinkin-ib.jp	常に許可	すべて削除(M)								

画面	操作
	<p>11. インターネットのプロパティの「プライバシー」タブの「ポップアップブロックを有効にする」が有効（チェックあり）であることを確認し、「設定」を選択してください。</p>
	<p>12. ポップアップブロックの設定の「許可する Web サイトのアドレス」の入力欄に下記 URL を入力し、「追加」を選択してください。</p> <p>「www.shinkin.co.jp」</p>




画面	操作
 <p>ポップアップ ブロックの設定</p> <p>例外</p> <p>現在ポップアップはブロックされています。下の一覧にサイトを追加することにより、特定の Web サイトのポップアップを許可できます。</p> <p>許可する Web サイトのアドレス(W):</p> <p>許可されたサイト(S): www.shinkin.co.jp</p> <p>通知とブロック レベル:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ポップアップのブロック時に音を鳴らす(P)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ポップアップのブロック時に通知バーを表示する(N)</p> <p>ブロック レベル(B): 中: ほとんどの自動ポップアップをブロックする</p> <p>ポップアップ ブロックの詳細</p> <p>閉じる(C)</p>	<p>13. ポップアップブロックの設定の「許可されたサイト」に「www.shinkin.co.jp」が登録されたことを確認し、「閉じる」を選択してください。</p>
 <p>インターネットのプロパティ</p> <p>全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム <b>詳細設定</b></p> <p>設定</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> エンコードされたアドレスについて通知バーを表示する</p> <p><input type="checkbox"/> エンコードされたアドレスを常に表示する</p> <p>🔒 セキュリティ</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> DOM ストレージを有効にする</p> <p><input type="checkbox"/> Internet Explorer でアクセスしたサイトにトラッキング拒否要求を送信する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> POST の送信が POST を許可しないゾーンにリダイレクトされた場合に警告を表示する</p> <p><input type="checkbox"/> SSL 3.0 を使用する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> TLS 1.0 を使用する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> TLS 1.1 の使用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> <b>TLS 1.2 の使用</b></p> <p><input type="checkbox"/> TLS 1.3 を使用する (試験段階)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Windows Defender SmartScreen を有効にする</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> サーバーの証明書失効を確認する*</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ダウンロードしたプログラムの署名を確認する</p> <p><input type="checkbox"/> ...</p> <p>*コンピュータの再起動後に有効になります</p> <p>詳細設定を復元(R)</p> <p>Internet Explorer の設定をリセット</p> <p>Internet Explorer の設定を既定の状態にリセットします。 リセット(S)...</p> <p>ブラウザーが不安定な状態になった場合にのみ、この設定を使ってください。</p> <p>OK キャンセル 適用(A)</p>	<p>14. インターネットのプロパティの「詳細設定」タブを選択してください。「TLS1.2の使用」にチェックを入れます。「適用」を選択し、「OK」を選択してください。</p>

引き続き IE モード関連機能の手順を実施してください。

## IE モード関連機能

画面	操作
	<p>1. ホームやアプリ一覧から、ブラウザー Microsoft Edge を起動してください。</p>
	<p>2. ブラウザー Microsoft Edge にて、ご利用の信用金庫の HP を開いてください。</p> <p>3. 右上の「…」を選択し、メニューから「設定」を選択してください。</p>



画面	操作
	<p>4. 「設定」のタブが新しく表示されます。「既定のブラウザ」を選択してください。</p>
	<p>5. Internet Explorer の互換性の「Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可」にて、「許可」を選択してください。</p>
	<p>6. Internet Explorer の互換性の「Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可」にて、「再起動」を選択してください。</p>